



会報

DISTRICT 353

CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

例会場 鶴岡市本町二丁目
ひ さ ご や

例会日 毎週 火曜日
P.M 12:30~1:30

事務所 鶴岡市馬場町
商工会議所内
☎ 0235 (2) 5775

会 長：阿 部 襄

幹 事：市 川 輝 雄

Let's Take A New Look!

ロイ D ヒックマン

「もう一度見直そう」

1972—73年度

第 662 号 1972.7.18 (火) (くもり)

※ 点 鐘 鈴木副会長

※ ロータリーソング
「手に手つないで」

〔1〕 出席報告

本日の出席	会員数	63名	欠	阿宗君、阿部(公)君
	出席数	52名	席	阿部(襄)君、早坂(徳)君、平田君、青山君、三浦君、芳網君
	出席率	82.54%	者	大川君、長谷川君、富樫君
前回の出席	前回出席率	74.60%	メ	蔽田君—米沢 RC
	修正出席数	54名	ィ	阿宗君—山形 RC
	確定出席率	85.71%	ッ	張君、飯白君、小池君
			ブ	佐藤(忠)君、手塚君—鶴岡西 RC

〔2〕 ビジター

今回	鶴岡西	
1名	半田茂弥君	
前回		
8名		
6月計		
9名		

※ 会長報告

・インターハイも旬日にさしせまってきました。当鶴岡市においては柔道と水泳の競技が開催されるわけです。柔道については齋藤信義君、水泳は五十嵐伊市郎君が夫々地元の体協の役員として活躍されているわけです。県高連に対してインターハイ協力として当クラブからすでに会員各位より拠出していただき寄贈しておりますが、今回は当市開催の柔道水泳の地元の各体協に対してその負担をいくらかでも助勢する意味でニコニコボックスを回したいと思います。各位の御賛同をお願いします。(ニコニコボックスが会員の間をまわる間)

齋藤信義君、五十嵐伊市郎君より司会と同趣旨の要請が夫々表明され、ニコニコボックス集計の結果

柔道、水泳部門に夫々弐万円づつ寄贈を行い、インターハイの成功を祈る。

会報はご家族みんなで読ましましょう

・先般の集中豪雨により被害を受けられた能代 R・C よりお礼状がきております。

鶴岡ロータリークラブ殿

能代ロータリークラブ

会長 中田 武治

この度の水害につき早速御親切なるお見舞電報・電話をいただき有難うございました。厚く御礼申し上げます。

御承知の米代川の堤防が切れてしまいましたので流域一帯特に中川原地区の被害に激甚でした。私共クラブ会員の中で被害を受けた者は16名おまして家屋や工場・倉庫等を水浸しにされ、大被害を受けましたが幸いにも一人の事故も出ずこれだけでも不幸中の幸いと思っております。

これからの前後策を講じなければなりません、今の処はまだ一面の泥海で全く手のつけようがありません。そのようなわけで何かと落ちつかない状態でございますのでとやみかたお礼とお知らせのみで失礼致します。

※ 幹事報告

・例会日、例会時間の変更

新庄 R・C 7月28日 6時 三光舎屋上
ビアガーデン

山形北 R・C 7月20日 5時30分
産業会館 6F

東京日本橋 R・C 8月中の例会時間を午前
8時30分～9時30分
パレスホテル 2F

酒田 R・C 7月19日 12時30分 玉勘で

鶴岡西 R・C 7月26日 クラブ協議会のため
P.M 5時 ホテル山王閣

・会報到着

能代 R・C

・水害見舞礼状到着
能代 R・C

・来る25日(火) P.M 4時より「ひさごや」で「今年度の活動計画」についてクラブ協議会を開催します。各委員長、役員の方々には必ず出席して下さい。委員長の都合の悪い場合は委員の方の代理出席を必ずお願いします。

※ 地区協議会の報告の総括

早坂源四郎 G・N 候補

先週の土曜日(15日)に地区諮問委員会に出席してきました。その折に決定されました事項を若干申し上げておきます。

1つは先般来の集中豪雨で罹災されたクラブへの見舞は地区として取扱わずに各クラブ単位で取組んで欲しいとのことでした。

2つは地区分割の件に關してですが原案通り3分割案(山形—福島、秋田—青森、岩手—宮城)で R・I の諒解を求めることに決定しました。いずれ地区大会の折に決議案が提出されることと思います。

地区協議会の報告に移ります。

私は会報部会のリーダーを仰せつかり、三井徹君が副リーダーで助けていただきました。会報部会の模様はすでに会報委員長の田中君からご報告ありましたので時間あれば補足報告をいたしたいと思っております。

会報部会での私の最初の挨拶の中で、I・B・M の初代のワットソン社長の言葉を引用いたしました。

“Read よく読むこと
Hear よく聴くこと
Discuss 充分討論すること
Think よく考えること、”

この中でリーダーとして感じましたことは hear 人の話を良く理解して聞くと云うことは大変にむずかしいことだと云うことです。Discuss 討論しておる折でもこの次は自分は

何を云うかとばかり考えて相手の話を上のそ
らで聞くということは日常しばしばあること
です。

協議会の第1日目に私は会長部会に出席い
たしました。阿部会長も出席されましたが、
その節配布された資料の中に「指導力—会長
の任務」と云うのがあり興味ある示唆が二、
三ありましたので要約してお知らせします。

1. 社会に於てまたロータリーで、指導者に
選ばれた人々は、時として自分を選んでく
れた人々が非常に聡明な人たちであることを
忘れる。彼等をロボタリヤン(ロボット
人間)として扱ってはいけぬ。指導者は
彼等のために働く奉仕者であることを忘れ
てはいけぬ。

2. 指導者のタイプに2つある。

1つは 独裁型(なすべきことを人々に命
令する)

1つは 民主型(なすべきことについて人
々に意見をのべさせる)

軍隊等では独裁、命令型指導法が適している
がクラブ等では何事も協力しあわなければなら
ぬから独裁型は不適である。然しながらその
反対に余り民主的なのは、みんなが人の発言
を待つと云うことになって、きまぐれな決議
等が行われクラブ自体不活発になり、全然
プログラムを実行しない様な無気力な指導者
になってしまう。

指導者はやはりリードし且つ批判力を持た
ねば駄目だ。独裁型と民主型の中間をとるべ
きである。

3. 指導者の最も創造的な機能とは他の人々
から独創的な考え方やアイデアを引き出す
事である。指導者は一般の人々が持っている
批判的な思考を奨励しなければなりません。

(この批判は破壊的でなく建設的なもので
ある事が必要である)

批判を抑えつけるのは有能な指導者では
ない。

4. ある計画に関するアイデアが討論によ
って会員から出された場合の方が、会長席
から提案された場合よりもその成功率は2
倍にも高まる。

この他にもありますが省略します。

この数年来日本でも人の生きがい、働く人
の動機づけ、やる気をおこさせるという行動
科学という研究が経営学の中で行われている
と云うことですが、これは唯今申し述べた指
導者論で一部解明されていると思います。

米国では昔からテラーの科学的管理以来
企業の中での働く人の心理的研究が盛んで
すが極めて最近のビジネス雑誌にハーバート大
学のビジネススクールのレビンソンと云う教
授が「企業は教育機関であり、経営者は教育
者でなければならぬ」と云っております。

経営者の基本的仕事は利益をあげることで
はなく、組織を永続させること。勿論企業は
利益をあげねば永続できないが、たとえ利益
をあげながらつぶれるケースもあるからだ
と説いております。

話は又変わりますが、本年度の R. I のヒッ
クマン会長は「会員増強」と「広報」に非常
に力を入れておられるとの事です。

私は広報が成功すれば会員増強も順調にゆ
くと思います。広報と宣伝—Publicity と Pr
opaganda— 宣伝は広報の一部であり往々に
して経済的利益と結び付くケースが多いけれ
ども広報は思想の伝達であります。その効果
は行動を起す時に最も効果があります。例え
ばオハイオ国際親善合唱団、オーストラリヤ
の研究グループの来鶴の機会を有効に活用す
べきです。

NHKの佐々木局長さん、荘内日報の小野
寺さん、山形放送の青山さん、よろしくお願
いいたします。

以上で私の報告を終わります。

(ロータリー語解説)

・ガバナー・ノミネー [G・N]
(Governor Nominee)

地区は、国際大会において選挙されるべきガバナー候補者を地区大会で指名しなければならない。地区大会で指名されたガバナー候補者をガバナー・ノミネーと云う。国際大会で選挙された後、7月1日の就任までの間はガバナー・イレクトと呼ばれる。

○地区評議会
(District Assembly)

地区ガバナーが主宰し、次期ガバナーの協力を得て行なわれる。参加を要請される者は毎年理事会が指定するが、1972年の地区協議会には現ガバナー及び次期ガバナーの外に次年度の各クラブ会長、幹事、奉仕4部門担当の各理事、ロータリー財団委員長、会員増強委員長、及び会報編集者が参加者として指定された。地区協議会の目的は次年度の地区運営に備えてクラブ内外諸般のロータリー活動について協議するにある。開催日は、R・I細則の規定に拘らず、最近数年は毎年R・I理事会が「国際協議会終了後なるべく早く、6月30日より遅くならない時期に開催することを強く要望する」と声明するのが例となっている。

※ 第7回 インターアクトクラブ 年次大会について
安藤インターアクト委員長

(1) 今年度の第7回インターアクトクラブの年次大会は次のように開催されることになりました。

1. ホスト校 福島県立喜多方工業高等学校
インターアクトクラブ
2. スポンサークラブ 喜多方R・C
3. 期 日 昭和47年8月5日(土)より
昭和47年8月8日(火)まで
3泊4日
4. 場 所 裏盤梯国民休暇村 檜原荘
(福島県耶麻郡北塩原村大字檜原字小野川
1092 〒969-27 TEL 024132~2421)

5. 参加対象 参加予定校 9校
各校生徒7名 顧問1名
参加予定者 約75名

6. 参加費 登録料 1人 5,400円
(含む宿泊、資料代)

7. 目 的

イ、リーダーとしての資質、知識の体系化を計り技術を身につける。

ロ、集団生活を通じて連帯感、責任感を養うと共に実践力を育てる。

ハ、核としての自覚をもち、I・C活動の気運をたかめ、その発展の一助とする。

8. テーマ 「よいリーダーは、よいリーダーをつくれる人」

Skill —— 技術

Habit —— 習慣

Attitude —— 態度

Knowledge —— 知識

Experience —— 経験

- ・これをS.H.a.k.e—shake
—してよいリーダーとなる
- ・そのためのモノサジとハサミづくりを目指す。

以上のような次第で今回は前例のない徹底した研修方式をとられ且つ人員も限定され研修内容も極めて理論的且つ抽象的で参加者も指導者も苦慮しております。

(2) 鶴岡高校インターアクトクラブの参加について

同校より顧問1名(児玉先生)生徒3年生1名、2年生4名、1年生2名計7名が参加します。実は本年度は全員参加の熱意で各方面で努力していましたが、上記の通り限定されましたので不参加者のために次の通りキャンプ研修を行います。そして年次大会参加者は大会終了後合流することになりました。

イ、期 日 昭和47年8月7日(月)

昭和47年8月9日(木)

2泊3日

ロ、場 所 鼠ヶ関海岸

ハ、参加者 13名

クラブよりの予算をよろしく願います